



## 本市への移住・定住を 促進するために

三宅和広 議員

Uターンは「人口減少対策」「活力あるまちづくり」などのメリットが期待できる。Uターン者を増やすために、今後、新たな取り組みは考えていないか。

本市ホームページの「移住・定住」のページはわかりづらい。天童への移住を

考えホームページから情報を得ようとしても、わかりづらく移住を諦めてしまうのではないか。

遠藤総務部長 来年度、地域おこし協力隊を2人採用し、そのうち1人から移住・定住関係の情報発信、お試し移住の企画、実践等

をしていたと予定である。ホームページからも簡単に情報収集できるように改善していきたい。

## Uターンを促進 するために

天童にも良い企業があることを知らないために、地元での就職を希望しない学生が多いのではないか。良い企業があることを学生に知ってもらうために、親を対象とした就職セミナーを

開催したり、企業に対しユースエール認定制度※1やくるみん認定制度※2を周知するなどの取り組みも必要ではないか。

森谷経済部長 親を対象と

今春に卒業予定の大学生らの地元就職希望の割合は  
山形県 29.3%のみ  
その理由は  
志望する企業がない 56.7%

優れた県内企業を知らないのではないか？

「2019年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査」を基に作成

したガイダンスを県と労働局が実施している。しかし、市内からの参加者が少ない状況にあるので、実施のあり方について関係機関と調整していきたい。

認定制度については、企業に対してメリット等をアピールしていきたい。

※1…若者の採用・育成に積極的な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度

※2…仕事と子育ての両立を支援する企業を認定する制度